

認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成 22 年 3 月
長野市（長野県）

I. ポイント

○計画期間；平成 19 年 5 月～平成 24 年 3 月（4 年 11 ヶ月）

1. 概況

長野駅前にあったショッピングセンターが閉店、H21 年 3 月に建物が解体された。同年 7 月より平面駐車場として一部利用されているが、まちの空洞化が浮き彫りとなり、低未利用地の増加に歯止めがかかっていない。しかし、「34.善光寺表参道灯籠復元事業」により、善光寺表参道である中央通りに春日灯籠が設置され、「門前都市」のイメージアップに繋がっている。

また、基軸事業である「21.中央通り歩行者優先道路化事業」も、地元との話し合いを進めながら、測量、基本設計を行い、来年度より順次、工事が着工される予定であり順調に進んでいる。~~また、今後、新たに小路の美装化などの事業を追加し整備を進める予定である。~~

もんぜんぶら座の利用者数の増加など一定の成果がみられ、善光寺仁王門前の歩行者・自転車通行量は 2 年連続 9 千人を超えた他、一部、道路事業において、権利者の理解を得るのに時間を要しているため事業の進捗が滞っているが、中心市街地の歩行者・自転車通行量も微増し、実施事業の波及効果は、徐々に現れてきている。

しかし、現在の厳しい経済状況のなか、優良建築物等整備事業については資金調達が難航し、事業の進捗が著しく遅れている。また、民間マンションの建設も中止が相次いでおり、居住人口の流出は減少しているものの、増加には至っておらず、今後の見通しも非常に厳しい状況である。

事業全体の進捗状況は、総事業 50 事業（内 1 事業は 2 項目）のうち、6 事業が完了、21 事業が実施中、24 事業が未完了である。

2. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	見通し
訪れたいまち	善光寺仁王門前の歩行者・自転車通行量	8,552 人 (H18)	10,000 人 (H23)	9,347 人 (H21)	①
住みたいまち	中心市街地（36 町丁字）の 居住人口	9,660 人 (H18)	10,900 人 (H23)	9,755 人 (H21)	④
歩きたいまち	中心市街地（15 地点）の 歩行者・自転車通行量	263,903 人 (H18)	320,000 人 (H23)	223,536 人 (H21)	②
参加したいまち	もんぜんぶら座と生涯学習 センターの年間利用者数	300,726 人 (H18)	368,000 人 (H23)	368,209 人 (H20)	①

注) ①：取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。

②：取組の進捗状況が概ね予定通りだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

③：取組の進捗状況は予定通りではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。

④：取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

⑤：事業等が実施されていないため、今回は評価対象外。

3. 目標達成見通しの理由

①「善光寺仁王門前の歩行者・自転車通行量」について

- ・ 前年度比より微減しているが、ほぼ計画どおり事業が進捗している。地元商店主等のまちづくりへの意識の高揚が感じられ、更に商業・サービスの魅力向上が図られているため、目標達成は可能と見込まれる。

②「中心市街地（36町丁字）の居住人口」

- ・ 数値は増加しているが、平成22年度以降に実施が繰り延べられた事業があることや、現在の経済状況の中、住宅供給を見込んでいた優良建築物等整備事業の進捗が著しく遅れており、今後の急速な景気回復も考えにくく、目標達成は困難と見込まれる。

③「中心市街地（15地点）の歩行者・自転車通行量」について

~~・ 目標達成のための主要事業である「21.中央通り歩行者優先道路化事業」について、一部工事が善王され、今後の事業の円滑な遂行に大きく寄与するものと評価している。~~

- ・ 数値は微増であるが、調査ポイント15箇所中9箇所で増加しており、歩行者の通行量は着実に増加している。一部、遅れている事業もあるがほぼ計画通り事業が進捗している。来街者への利便性向上に資する事業が推進されているが、目標数値まではまだ開きがあり、目標達成には厳しい状況である。

④「もんぜんぶら座と生涯学習センターの年間利用者数」について

- ・ ほぼ計画どおり事業が進捗し、その効果が現れてきている。「26.もんぜんぶら座活用事業（未利用階の有効活用に向けた改修工事）」も終了し、サービスの魅力向上が図られており、目標達成は可能と見込まれる。

4. 今後の対策

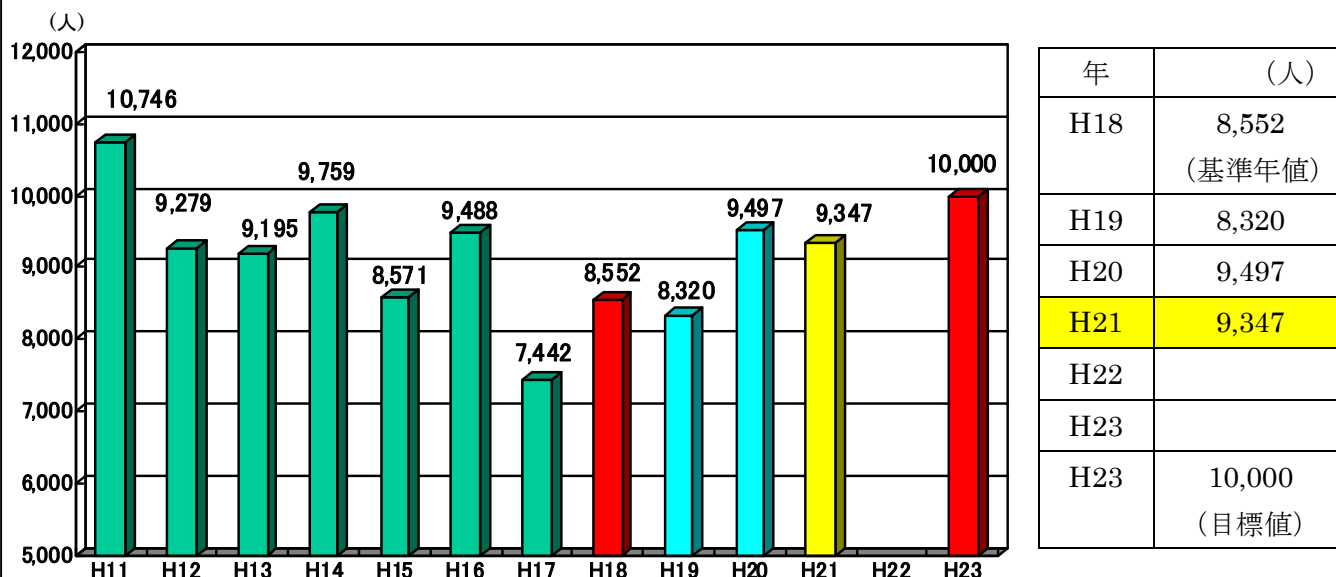
今後、新たに小路の美装化、自転車道の整備等の事業を追加し、歩行者、自転車利用者の更なる回遊性の向上を図るほか、~~今後とも~~、市内の総合調整会議幹事会及び中心市街地活性化協議会による事業の検討、協力体制を強化し、基本計画に掲載されている事業を積極的に推進していくとともに、数値目標達成に寄与する事業については基本計画へ追加するなど、活性化に向け努力する。

また、各調査・検討事業を引き続き実施し、中心市街地の魅力向上のための事業を具現化し、必要に応じて基本計画への事業追加、改善を検討していく。

II. 目標①「訪れたいまち」

「善光寺仁王門前の歩行者・自転車通行量（人）」 * 目標設定の考え方基本計画 P66～P70 参照

1. 調査結果の推移



* 調査月 : 7月

* 調査主体 : 長野市歩行者通行量調査実行委員会

* 調査対象 : 第3金曜日(平日)8時から20時まで 1地点3ポイント 歩行者、自転車、バイク

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

・2.善光寺門前駐車場整備事業(長野市)

事業完了時期	【済】H17年度～20年度
事業概要	善光寺門前における駐車場の再整備
事業効果 or 進捗状況	計画：10台分増設 ⇒ 実際：8台分増設 善光寺門前の観光客や来街者に対する利便性が向上 利用率が上昇したほか、1台あたりの駐車時間が延びており、善光寺周辺の回遊性が向上している

・11.善光寺周辺地区街なみ環境整備事業(長野市)

事業完了時期	【未】H13年度～22年度
事業概要	善光寺周辺地区の道路・小路等の整備及び住宅等の修景助成
事業効果 or 進捗状況	H21年度は、院坊通り(釈迦堂通り、西院通り、法然通り等)の電線類地中化及び道路美装化の測量設計と修景助成9件を実施 H20年度には、修景助成9件と善光寺南線道路美装化が完了し、門前町としての雰囲気と賑わいを再生

・ 15.善光寺門前観光バス駐車場整備計画策定事業（長野市）

事業完了時期	【未】 H20 年度～21 年度
事業概要	善光寺門前の観光バス駐車場について調査・検討を行い、総合的な整備計画を策定
事業効果 or 進捗状況	長野市の特定課題として位置づけ、庁内プロジェクトチームで検討中。 県、警察等との協議の結果、当初予定していた観光バスの駐停車場の整備が困難となり、新たな候補地についての検討に切り替えたため、事業計画策定に遅れが生じている。 周辺交通網、観光客の誘導など「善光寺門前の観光の仕組と体制づくり」を提案

・ 33.観光事業者育成塾事業（財ながの観光コンベンションビューロー）

事業完了時期	【実施中】 H19 年度～23 年度
事業概要	観光客等の受け入れ体制充実につなげ、再び長野を訪れたいするための仕掛けづくりを学び、観光客に接する店主等の CS 意識の向上を図る目的で事業者向けの講座を開催
事業効果 or 進捗状況	ながの観光コンベンションビューロー開催の賛助会員セミナーの拡充プログラムとして 4 回セミナーを開催

・ 44.ぱていお大門運営事業（株まちづくり長野）

事業完了時期	【実施中】 H17 年度～
事業概要	空き蔵、民家を再生したテナントミックス商業施設である「ぱていお大門」の運営
事業効果 or 進捗状況	善光寺花回廊、御開帳、灯明まつり等に併せたイベントやビアガーデン等独自のイベントを開催 来街者数 前年度比〇% 表参道もんぜん駐車場の利用率 前年度比〇% 直近の歩行者通行量調査地点では、歩行者通行量が前年度比 6.5%増加

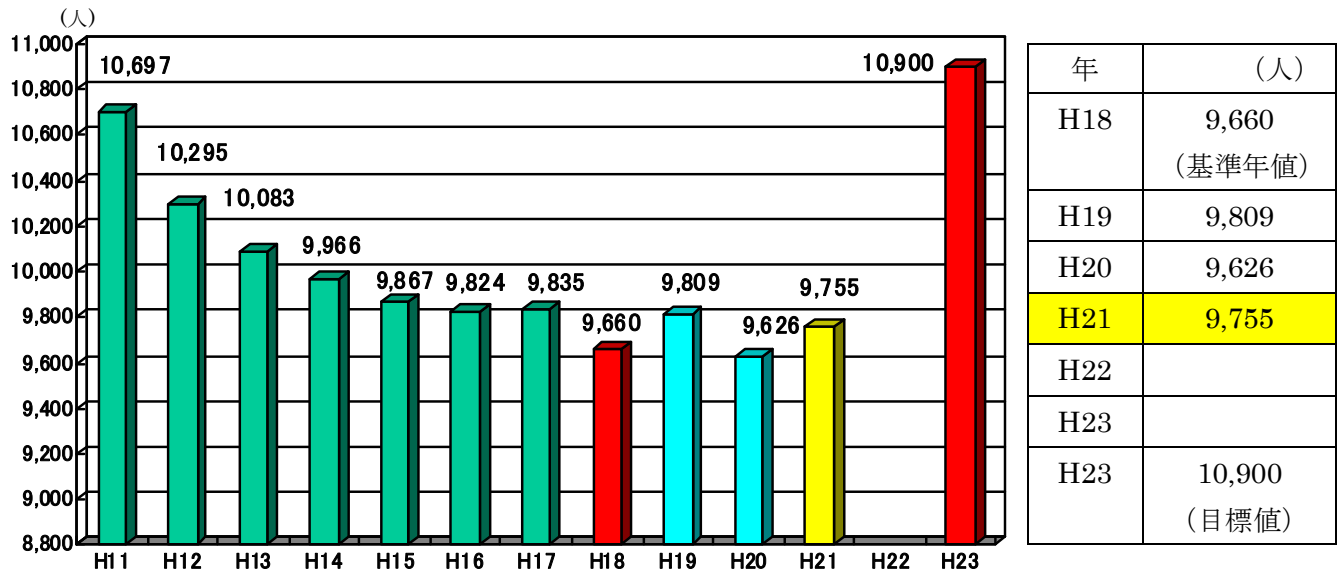
3. 数値目標達成の見通し及び今後の対策

- ・ 基本計画掲載事業は、一部遅れている事業もあるが、ほぼ計画通り実施されている。
- ・ 数値指標は前年度比では微減ではあるが、2 年連続して 9 千人を突破しており、事業効果が現れ始めている。
- ・ 「2.善光寺門前駐車場整備事業」が終了し、善光寺に南側正面から参拝するための利便性が向上し、門前におけるまちなか観光の推進にも大きく寄与している。
- ・ 地元店主等のまちづくりへの意識の高揚が感じられ、更なる商業・サービスの向上など善光寺門前の魅力がより一層向上し、数値目標は達成できるものとする。
- ・ 昨年の善光寺三百年祭、今年の善光寺御開帳と節目の年であったことから、少なからず数値に影響があったと思われる。来年度以降、この好影響を持続させるべく、庁内の事業担当課等で組織する総合調整会議幹事会を始めとし、民間の事業主体や観光事業者、中心市街地活性化協議会との連携を図りながら、円滑な事業推進を目指す。

Ⅲ. 目標②「住みたくなるまち」

「中心市街地（36町丁字）の居住人口（人） * 目標設定の考え方基本計画 P71～P73 参照

1. 調査結果の推移



* 調査月 : 4月

* 調査主体 : 長野市

* 調査対象 : 中心市街地区域内及び区域をまたぐ36町丁字別の住民基本台帳人口

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

・6.長野駅周辺第二土地区画整理事業（長野市）

事業完了時期	【未】H5年度～H28年度
事業概要	長野駅東口に近接する当地区に宅地整備と併せ、広域交通の玄関口としての機能向上、基盤整備 都市計画道路、区画道路、歩行者専用道路、公園用地、長野駅東口地下駐車場等の整備
事業効果 or 進捗状況	全体計画の約73%が完了 区画整理エリア内に新たにマンションが建設され居住人口が増加 芹田地区 H20年4月 1,369人 ⇒ H21年4月 1,534人 165人増

・28.まちなか居住支援事業（長野市）

事業完了時期	【実施中】H20年度～
事業概要	まちなか居住の促進のための施策の構築 H17年度長野市まちなか居住調査専門委員会からの提案の具現化
事業効果 or 進捗状況	総合調整会議推進部会、庁内プロジェクトチームによる施策の検討 中心市街地活性化協議会による、まちなか居住のモデルプランの提案

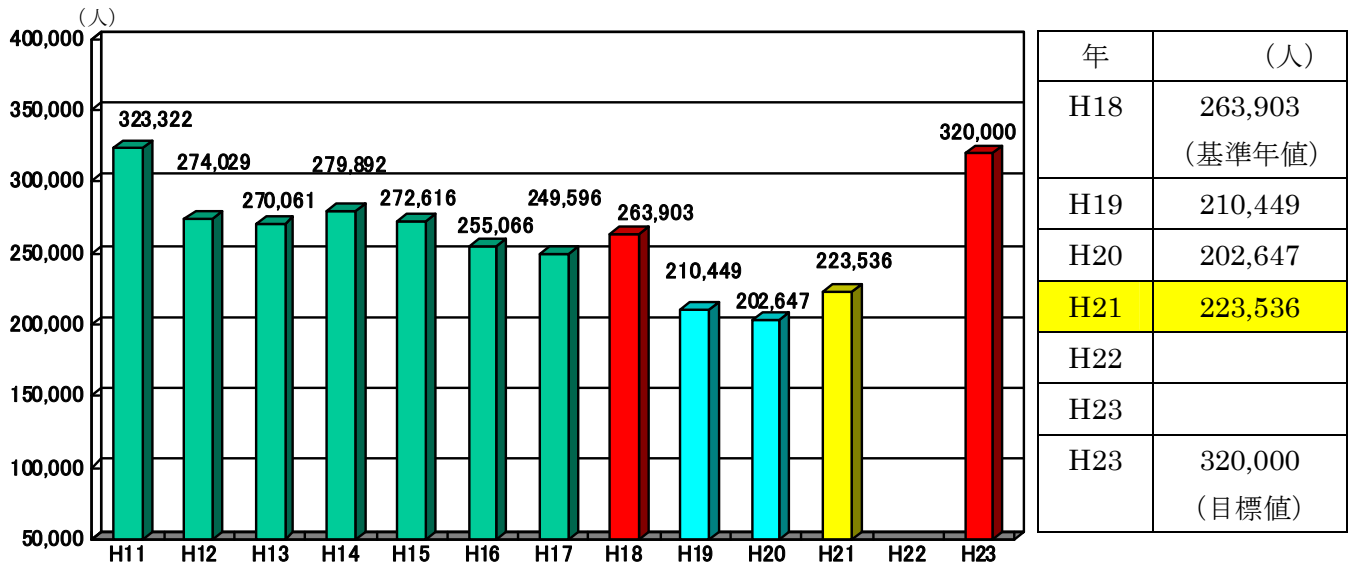
3. 数値目標達成の見通し及び今後の対策

- ・ 中心市街地において民間事業者によるマンションが供給され、居住人口は前年度比+1.4%増加しているが、世界的経済不況の影響を受けマンション建設等の計画中止が相次ぎ、優良建築物整備事業も著しく遅れている。今後の民間のマンション供給も当初計画していたほどは見込めず、目標達成は非常に厳しい状況である。
- ・ 庁内の関係各課によるプロジェクトチームを発足させ、中心市街地活性化協議会との連携を取りながら、民間事業者の動きをさらに誘発できるような支援体制を構築するため、検討をしている。
- ・ また、まちなかに住むための情報提供も積極的に行っていきたい。
- ・ 中心市街地へのまちなか居住の動きを確かなものにするとともに、国の支援策を積極的に活用しながら、住み続けてもらうための環境の整備にも着手していきたい。
- ・ 「22.後町小学校跡地活用計画策定事業」、「23.セントラルスクウェア周辺地区再生調査・検討事業」、「24.勤労者福祉センター跡地活用調査・検討事業」等の各調査・検討事業により、「住みたくなるまち」の実現に向けて中心市街地の魅力向上のための事業を具現化し取り組んでいくとともに、基本計画への掲載など随時必要な対応を行うこととする。

IV. 目標③「歩きたくなるまち」

「中心市街地（15 地点）の歩行者・自転車通行量（人）」 * 目標設定の考え方基本計画 P76～P78
参照

1. 調査結果の推移



* 調査月 : 7 月

* 調査主体 : 長野市歩行者通行量調査実行委員会

* 調査対象 : 第 3 金曜日 (平日) 8 時から 20 時まで 15 地点 68 ポイント 歩行者、自転車、バイク

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

1. 中央通り歩行者優先道路化事業 (社会実験・整備計画検討及び策定) (長野市)

事業完了時期	【済】 H16 年度～20 年度
事業概要	善光寺表参道の歩行者優先道路化に向けた社会実験、整備計画の検討及び策定
事業効果 or 進捗状況	平成 16 年度から実施してきた社会実験を H20 年度に終了し、整備計画を策定。「21.中央通り歩行者優先道路化事業 (道路整備)」に移行。

21. 中央通り歩行者優先道路化事業 (道路整備) (長野市)

事業完了時期	【未】 H20 年度～26 年度
事業概要	善光寺表参道の歩行者優先道路化に向けた道路整備
事業効果 or 進捗状況	地元関係者との協議。測量、基本設計を実施

4. 市道長野大通り線歩道整備事業 (長野市)

事業完了時期	【未】 H17 年度～21 年度
事業概要	長野大通り線の歩道の無散水消雪施設の整備
事業効果 or 進捗状況	歩道舗装工、無散水消雪施設工 L=40m、井戸 2 基設置 (H20 年度 1 基、H21 年度 1 基)

10. あんしん歩行エリア交通安全対策事業（長野市）

事業完了時期	【未】H10年度～
事業概要	「あんしん歩行エリア」交通安全対策計画に基づく、あんしん歩行エリアの道路の改良事業
事業効果 or 進捗状況	路肩カラー舗装 L=1,630m（H20年度 740m、H21年度 890m） 注意喚起標識 11箇所設置（H20年度 7箇所、H21年度 4箇所） 工事改良済の道路の歩行者通行量 前年度比 8.4%増加

13. 北八幡川親水性水路建設事業（長野市）

事業完了時期	【済】H14年度～20年度
事業概要	ホタルが生息する環境を保全しつつ、親水性水路として整備
事業効果 or 進捗状況	現在のホタルが生息している環境を残すため、河川を守っている地元小学校及びホタルを守る会等と協議し、大規模改修は実施せず下水道管の撤去、根継工箇所の改修を行う。直近の歩行者通行量調査地点では、歩行者通行量が前年度比 7.2%増加

14. 善光寺表参道景観づくり推進事業（長野市）

事業完了時期	【未】H20年度～22年度
事業概要	善光寺表参道のストリートファニチャー等のガイドラインの策定
事業効果 or 進捗状況	「21.中央通り歩行者優先道路化事業（道路整備）」に併せ、現況調査の実施

19. 歩行者用公共案内表示板改修事業（長野市）

事業完了時期	【済】H19年度～21年度
事業概要	「長野市歩行者用公共案内標識整備計画」の見直しと案内標識の更新
事業効果 or 進捗状況	国、県、市、警察等関係機関を調整し、善光寺御開帳にあわせ、地図情報掲載の案内標識 15箇所について盤面を更新 今後の更新に関する方向性を検討

20. 野外彫刻ながのミュージアム事業（まちなか編）（長野市）

事業完了時期	【未】H20年度～24年度
事業概要	昭和 48 年から市内全域を美術館になぞらえた「野外彫刻ながのミュージアム構想」を推進している中、全市域に設置している野外彫刻を中心市街地への設置に特化
事業効果 or 進捗状況	JR 長野駅東口に新たに 1 点設置。中心市街地エリア内 16 点設置済み 市内循環バスを利用した野外彫刻巡りの PR、写真コンテストの実施 エリア内の野外彫刻を専門家の説明を加えながら巡る企画の実施

45. 門前都市回遊性向上創造事業（ふれ愛サポートクラブ）

事業完了時期	【実施中】H19年度～23年度
事業概要	歩いて楽しい街を実現するために、車と人のネットワークのあり方などを検証しつつ、中心市街地の回遊性の向上を図る
事業効果 or 進捗状況	「表参道ふれ愛通り推進委員会」と一緒に内容を限定し活動 該当商店街と共同で「表参道マップ」を作成

46. 市街地循環バス運行事業（長野市）

事業完了時期	【実施中】H12年度～
事業概要	40人乗り小型バスを用いて市内循環バス「ぐるりん号」を運行
事業効果 or 進捗状況	市域全体の公共交通再編の検討にあわせ、ルート変更、増便等の利便性の向上について検討 善光寺御開帳期間中の増便 前年度比 乗車率〇%

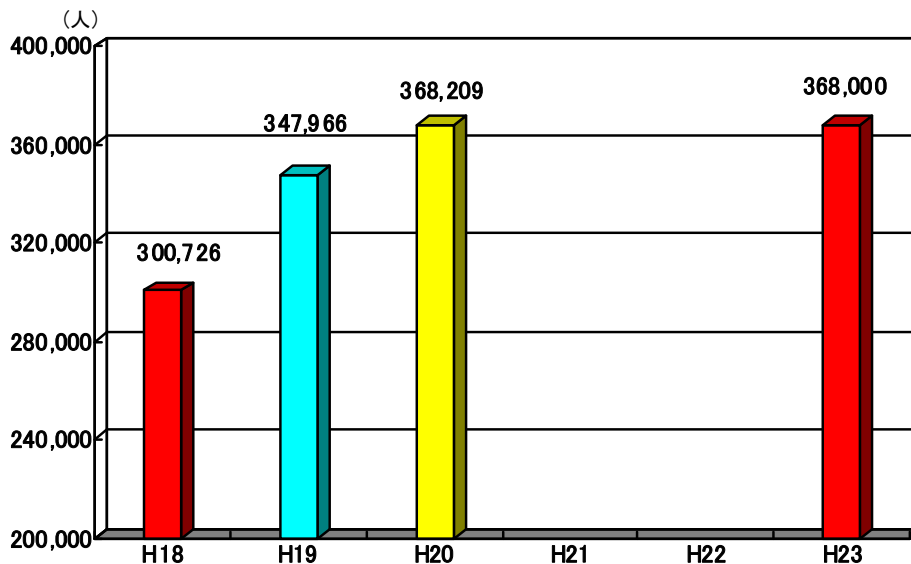
3. 数値目標達成の見通し及び今後の対策

- ・ 基本計画掲載事業は、ほぼ計画通り実施されている。
- ・ 数値は前年度比 10.3%増加に転じており、事業効果が現れ始めている。特に、中心市街地の中心部である「新田町交差点」付近では、歩行者通行量が前年度比 20%増加となった。平成 ~~12~~11 年度に大型商業施設が撤退した後の調査のうち過去最高の歩行者・自転車通行量となり、まさに活気が戻りつつある。
- ・ しかしながら、全体の目標数値とはまだ開きがあり、目標達成は厳しい状況である。基軸事業である「21.中央通り歩行者優先道路化事業」を地元住民や商店街の合意を得ながら、段階的にハード整備を順次実施するとともに、小路の道路整備等を2事業追加、実施することで、更なる回遊性の向上を目指し、目標達成に向け最大限努力する。
- ・ 今後は環境問題の視点からも、歩行者のみならず自転車利用者の安全性の確保や利便性の向上などの自転車利用の環境整備についても検討していきたい。
- ・ 中心市街地活性化協議会及び市内総合調整会議、また、行政だけでなく、「21.中央通り歩行者優先道路化事業」に民間サイドから取り組んでいる「ふれ愛通り推進委員会」など民間事業者とも連携を取りながら、総力戦で目標が達成できるよう邁進していく。

V. 目標④「参加したくなるまち」

「もんぜんぷら座及び生涯学習センターの年間利用者数（人）」 * 目標設定の考え方基本計画 P79～P83 参照)

1. 調査結果の推移



年	(人)
H18	300,726 (基準年値)
H19	347,966
H20	368,209
H21	
H22	
H23	
H23	368,000 (目標値)

* 調査月 : 翌年度の 4 月

* 調査主体 : 長野市

* 調査対象 : 両施設の公益施設の年間利用者数

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

26.もんぜんぷら座活用事業（未利用階の有効活用に向けた改修工事）（長野市）

事業完了時期	【追加】【済】 H19 年度～H20 年度
事業概要	NTT コールセンターの入居に伴う未利用階（5～8 階）の改修工事
事業効果 or 進捗状況	未利用階であった 5 階～8 階の改修工事が終了し、会議室、学習コーナーを増設 会議室利用者数（3 室増） 前年度比 16.3%増加（5,279 人増） 学習コーナー利用者数（12 席増） 前年度比 45.0%増加（8,293 人増）

26.もんぜんぷら座活用事業（長野市 ㈱まちづくり長野）

事業完了時期	【実施中】 H15 年度～
事業概要	大型空き店舗を市が買い取り改修した、公益施設・商業施設等のテナントミックス施設である「もんぜんぷら座」の管理・運営
事業効果 or 進捗状況	全館フロア利用開始 「就職情報・相談コーナー」機能の拡充 前年度比 8.9%増加（23,704 人増）

27. トイゴ活用事業（長野市 トイゴ内民間事業者）

事業完了時期	【実施中】H18年度～
事業概要	市街地再開発事業で建設された「トイゴ」の運営 トイゴ内の生涯学習センターの管理・運営
事業効果 or 進捗状況	生涯学習センターの自主講座の開催、大学と連携した各種学習機会の充実 トイゴ商業施設運営委員会を定期的で開催し、イベントとの連携、トイゴ広場の活用等について検討 前年度比 4.2%減少（3,461人減）

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

- ・ 基本計画掲載事業は、ほぼ計画通り実施されている。
- ・ もんぜんぷら座の大規模な改修工事も終了し、全館フロアが利用開始されたことにより、数値は前年度比+5.8%増加しており、生涯学習・市民活動・高齢者交流・地域ぐるみのまちづくり活動が活発化している。
- ・ もんぜんぷら座が全館利用開始になったことや、学生、若者、女性、障害者、高齢者など様々な方を対象とした就職支援サービスを提供する「就職情報・相談コーナー」機能の拡充を図ったこともあり、平成20年度数値は目標数値に達することができた。
- ・ 生涯学習センターの利用者数が前年度を下回ってしまったが、利便性及び集客力の向上や自主企画事業の内容の充実を図るため検討会議を開催するなど、より使いやすい施設運営に向け努力している。
- ・ 地域住民や事業者、ボランティア団体、行政など多様な主体がそれぞれの活動をより推進し、地域ぐるみのまちづくり活動の喚起を促し、目標達成に向け事業を推進していく。